

能登半島地震・被災者支援プログラムの報告（第14回）

東京都・TVAC・CS-Tokyo

■日程：2024年7月24日（水）～7月27日（土）

■ボランティア参加者数：12名

■サロン実施場所および被災者の参加者数

日時	サロン実施場所	被災者の参加者数
7月25日（木）	穴水町諸橋地区 諸橋仮設団地	19名
7月25日（木）	穴水町甲地区 兜公民館	23名
7月25日（木）	穴水町中居地区 住吉公民館	20名
7月25日（木）	輪島市町野地区 金蔵集会所	14名
7月26日（金）	穴水町志ヶ浦地区 志ヶ浦コミュニティセンター	16名
7月26日（金）	輪島市門前地区 禅の里交流館	55名
7月26日（金）	輪島市門前地区 皆月多目的集会所	25名
7月26日（金）	輪島市門前地区 浦上公民館	36名

■被災者の声（主なもの）

- ・一人で仮設住宅に住んでいるからここに来るのが楽しみで、毎週来ている。仮設住宅は静かすぎて夜になると不安で眠れなくなる。
- ・定年退職してリターンで穴水に移住してすぐに震災があった。でも景色がきれいだから離れられない。
- ・仮設に入居して器具の使い方が分からなくて困ったけど、周りの若い入居者の方に教えてもらった。
- ・3月に家の取り壊しがあり、家族の写真を保管しておくか迷った。古い写真はアルバムごと仮設に持ってきた。
- ・買い物に行くためのバスが一日一往復しかない。農協が出張販売をしてくれるのでありがたい。
- ・昨日の大雨警報で玄関まで水がきて不安になった。避難指示が出て何を持って行けばよいか分からなかった。
- ・家の修理に大工さんが全然来てくれなくて困っている。大工さんも忙しいから仕方がない。
- ・来週カヤックをやるから子どもたちに海上から隆起した海岸を見せてあげたい
- ・仮設住宅にはテレビが1台しかないの、私はドラマを見たいのに旦那が野球を見るから見れない。
- ・美味しい米粉のパン屋さんがあるよ。地元の人みんな知っている。
- ・家の取り壊しが決まった。庭に植えた花はどうなるのだろう。

■ボランティアの所感（主なもの）

- ・友達には話しづらい気持ちをボランティアに打ち明けてくださることがあり、外部の人間だからこそ受け止められることがあると感じた。
- ・震災から半年過ぎても道路に岩が残されていたり、道が盛り上がったまま修復されていない箇所もあり、復興の難しさを感じた。

